

駐パプアニューギニア
日本国特命全権大使
渡邊 信之氏

静岡大学人文学部(現・人文社会科学部)法学科卒

グローバルな視点で 地域課題にもアプローチを ～新学部への期待を語る～



渡邊 信之氏・・・1959年、静岡県生まれ。1982年に外務省に入省。在ボストン日本国総領事館幹事、在重慶日本国総領事館総領事などを経て現職。

40年ぶりの母校で学生に特別講演を行ったあと、学長と対談しました



人文社会科学部の学生たちに、「40年の国際関係と外務省勤務について」講演しました

学生たちには積極的に 世界と関わってほしい

日誌 今日は学生たちに外交官の仕事や世界との関わりについて大変貴重なお話をありがとうございました。私も一番前で拝聴しました(笑)。

渡邊 大学は卒業以来、40年ぶりに来ました。人文学部の校舎は変わってしまい、少し寂しいですが、キャンパスを歩くと、変わっていないなあ…と思うところも多く、非常に嬉しかったです。

日誌 講演で、一番伝えたかったことは何ですか。

渡邊 日本は海外と深く関わっていますので、世界の動きに目を向けてほしい、できれば積極的に関わってほしいとお伝えしました。



日誌 静大でも近年、留学生を多数受入れています。企業の応援を得ながらアジアの国々から留学生を受け入れるABPプログラムでは、卒業後、静岡との懸け橋となっただくことを目指しています。また、海外への留学もかなり増えています。

渡邊 大学の重点施策として国際人材

の育成に取り組まれているんですね。学生たちは身近に外国と交流する機会が増え、私の学生時代と比べると隔世の感があります。好奇心が旺盛な若いうちに、外国の人と直接携わる経験を持てば、人生の幅も広がると思います。

時代の要請に応える 「グローバル共創科学部」

日誌 令和5年度に新設される「グローバル共創科学部」では、地球規模の課題解決はもちろんですが、グローバルな視点を身につけることにより、日本社会の課題、身近な地域社会の課題にも、多様なアプローチができる人材の育成を目指します。国際的なコミュニケーションとデジタル社会に対応できるデータサイエンスを学び、社会課題の解決に必要な専門性の高い知識を身につけることができるよう、文系・理系を横につなぐ文理融合型の教育を行っていきます。

渡邊 すばらしいと思います。国際社会に出てみると、私は経済学部ですから、工学部ですから、〇〇学部ですから、などということより、むしろ今問題となっている 이슈について問題提起し、共有したうえでともに解決策を導いていきます。

まさに、コミュニケーション能力とそれぞれの専門性の両方で物事がどん

どん形作られていくので、時代の要請に応じた人材の育成に期待しています。

地域課題の解決にも 取り組みたい

渡邊 静岡には日本を代表する企業が多く、国際的にも活躍しています。グローバルな課題を勉強するには、非常に恵まれた場所だと思います。



日誌 世界に誇る富士山と駿河湾など豊かな自然環境を研究の資源と捉え、深めていくことによって国際的な交流も広がっていったらと思っています。静岡大学の学生は県内外から来ているので、広くグローバルな視点を持ちながら地域の課題にもアプローチできる複眼的な思考を持った人材の育成をぜひやっていきたいと思っています。

渡邊 学生の皆さんには、一生お付き合いできる友達や趣味を見つけていただければと思います。

日誌 また、ぜひご経験を学生たちにお伝えいただきたいです。本日はありがとうございました。